

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

無所属

代表者名

柳 賢一

以下のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 報 告 書

令和 6 年 3 月 29 日 提出

|                  |                            |                                  |
|------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 活動年月日            | 令和 5 年 7 月 11 日（火）～14 日（金） |                                  |
| 氏名               | 柳 賢一                       |                                  |
| 用務先<br>及び<br>内 容 | 1                          | 用務先 沖縄県 竹富町                      |
|                  | 7 月 11 日                   | 内 容 頑張る地域応援プロジェクト事業について          |
|                  | 2                          | 用務先 沖縄県 石垣市                      |
|                  | 7 月 12 日                   | 内 容 石垣島スポーツコミッションについて            |
|                  | 3                          | 用務先 沖縄県 浦添市                      |
|                  | 7 月 13 日                   | 内 容 浦添市障がい福祉関連複合施設「ピアラルうらそえ」について |
|                  | 4                          | 用務先 沖縄県 那覇市                      |
|                  | 7 月 14 日                   | 内 容 行政手続きのオンライン化について             |
| 備 考              |                            |                                  |



## 政務活動調査報告書

視察日 令和5年7月11日(火)

視察場所 沖縄県 竹富町

視察内容 「頑張る地域応援プロジェクト」について

視察者名 柳賢一

(竹富町の概要) 面積: 334.4 km<sup>2</sup> 人口: 4,291 人 人口密度: 12.83 人/km<sup>2</sup>

世帯数: 2,588 世帯 経常収支比率: 78.8% 実質公費債費比率: 6.7%

竹富町は、日本最南端の町であり、八重山列島のうち、西表島・竹富島・小浜島・黒島・波照間島・鳩間島・新城島・由布島の有人島と、その周囲にある仲の神島などの無人島からなる。竹富町役場は町外の石垣市にあり町内の各島への航路は基本的に石垣島を起点としている。西表島には、数多くの特別天然記念物のイリオモテヤマネコ、カンムリワシを始め、天然記念物などが多く生息・植生している。竹富町は、12人の議員で構成され、職員数は150人である。



(「頑張る地域応援プロジェクト事業」についての概要)

やる気のある地域が、自由に独自の施策を展開することにより、「魅力ある島々」、「魅力ある地域」に創造するよう、地域独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む町内在住の個人、地域公民館、団体等(以下「団体等」)に対し、地域創造交付金(以下「交付金」という。)を交付し、地域の隠れた資源を再発掘し、魅力ある地域に取り組む機会を提供することにより、住民自治の発展、更なる地域活性化に資することを目的とするものである。

(交付内容)

(1)地域の魅力を発掘する個人 10人×100 千円=1,000 千円

※1人最高 10 万円まで (2)地域の魅力を発掘する公民館 2団体×500千円=1,000千円

※1団体最高 50 万円まで (3)地域の魅力を発掘する団体等 2団体×500千円=1,000千円

※1団体最高 50 万円まで



(所感) 柳賢一

竹富町での「頑張る地域応援プロジェクト事業」の取組について、いんのた会館にて、お地元の有識者より学びの機会を賜りました。審査項目として、人と人とのつながりをつくる事業か

地域課題の解決や特徴を伸ばすことにつながる事業かという適合性、

事業の効果が個人や特定の団体にとどまらないか

公金の支出としてふさわしいかという公益性、

目的を達成する手段として妥当か

事業費が適当かという妥当性、

普遍性があり、今後の発展か期待できるか

継続が可能な事業であるかという発展性を本審査基準とされている。

全島が西表石垣国立公園に指定されており、過疎化が進む竹富町の歴史と文化を継承するための記念誌作成など、重要であると感じた。



## 政務活動調査報告書

視察日 令和5年7月12日(水)

視察場所 沖縄県 石垣市

視察内容 石垣島スポーツコミッションについて

視察者名 柳賢一

(石垣市の概要) 面積: 229.15 km<sup>2</sup> 人口: 49,510 人 人口密度: 216.06 人/km<sup>2</sup>

世帯数: 25,534 世帯 経常収支比率: 89.3% 実質公費債費比率: 7.0%

石垣島は、沖縄県石垣市に属する島で、沖縄県内では沖縄本島、西表島に次いで3番目に広い島であり、西表島、竹富島、小浜島、黒島、新城島、波照間島、与那国島からなる八重山諸島の主島でもある。石垣島は沖縄本島から南西約430km、飛行機で約50分の距離にあり、周囲を美しい珊瑚礁に囲まれた島であり、また各離島への玄関口でもあります。日本最南端の都市とも言われる石垣市は、八重山諸島の政治、経済、文化、交通の中心地となっている。亜熱帯の自然と都市が融合した島である。

リゾートホテルやショッピングモールがありながら、市街地周辺には沖縄独特の赤瓦民家や南国特有の花々、郊外に出れば、自然に囲まれた亜熱帯の島でさとうきび畑やパイン畑などの農作物があり、のどかな風景が広がっている。



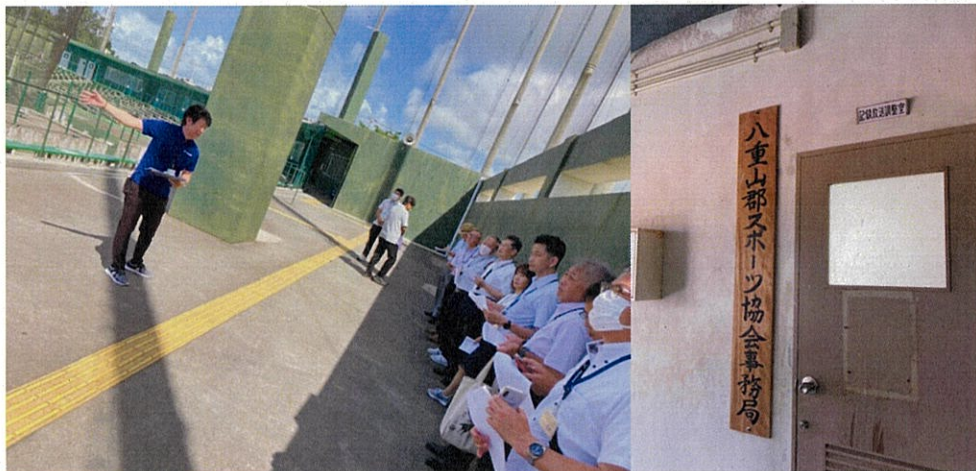
(石垣島スポーツコミッションについての概要)

石垣島の豊かな観光資源を生かして、島の魅力とスポーツと掛け合わせた〈スポーツツーリズム〉の創出を行うものである。また、島内スポーツ施設の環境整備はもちろん、スポーツに触れる機会やきっかけづくりを行うものである。その上で、様々な地域課題に対してスポーツを絡めた問題、課題解決を行う取り組みである。

(中央運動公園各施設の見学)



パシフィックリーグ所属の千葉ロッテマリーンズが2月からキャンプを行うことで知られており、2014年には石垣島初のオープン戦となる千葉ロッテマリーンズ対オリックス・バファローズの試合が開催された。石垣市中央運動公園には野球場だけではなく、総合体育館のメインアリーナ、サブアリーナ、武道場、野球場、プール、陸上競技場、テニスコートの複数の施設があり市民利用もできる施設になっている。



（所感）柳賢一

石垣市ではスポーツ誘致ブランド「スポーツウェルカム石垣島」を立ち上げた。石垣島スポーツコミッションは令和4年度スポーツ庁補助事業を活用して設立されたものであり、大規模大会やスポーツ合宿の誘致、スポーツを通じた交流促進を行い、これらの活動を通じて交流人口の拡大を図り、来訪者に対してまちの魅力をPRし、さらに地域における消費を促すことで地域経済活性化につなげることを目的として活動をし、スポーツツーリズムを推進するための中核となる組織である。本市においても、スポーツコミッションの進め方、及び活用方法の実例として非常に参考となりました。



## 政務活動調査報告書

視察日 令和5年7月13日(木)

視察場所 沖縄県 浦添市

視察内容 「ピアラルうらそえ」について

視察者名 柳賢一

(浦添市の概要) 面積: 19.09 km<sup>2</sup> 人口: 114,000人

那覇市、沖縄市、うるま市に次ぎ、沖縄県第4の規模を持つ都市である。  
全国でも高い出生率を誇り、那覇市と隣接するため人口増加が著しく、人口密度は5,868人/km<sup>2</sup> (2016年2月29日現在)と県内では那覇市に次いで2番目に高く、全国でも鉄道路線の通っていない。市町村では1番高い。

(施設の概要)

浦添市障がい福祉関連複合施設「ピアラルうらそえ」は、障がい者(児)に対する幼少期から成人期までの一貫性のある継続支援及び地域の相談支援強化を目指した福祉支援施設である。

ピアラルうらそえは、防衛省の補助事業として建設され、航空機事故等の緊急時には災害時要配慮者が優先的に避難することが可能な施設である。



(所感) 柳賢一

ピアラルうらそえは、障がい福祉関連複合施設であり、小児科・精神障害医師が常駐している。

施設としては、発達相談クリニック、基幹相談支援センター、親子通園型発達教室、児童発達支援センター、保育所等訪問事業が一体となっている。

特徴的なのは、スヌーズ・レン室というクールダウンをするための施設があり、子どもたちへの配慮の事例として、本市で検討すべきと考える。



## 政務活動調査報告書

視察日 令和5年7月14日（金）

視察場所 沖縄県那覇

視察内容 行政手続きのオンライン化について

視察者名 柳賢一

（那覇市の概要） 面積：38.99km<sup>2</sup> 人口：31.94万人

首里台地(標高165m)から東シナ海に面して、ゆるやかに傾斜した平野部を背景に、古くから港が整備されるなど、海外との交流拠点として、「琉球王国」文化が華ひらいた街である。気候的には、暖かい黒潮の影響もあって、冬でも暖かく、夏は、四方の海から吹く風が吹き抜ける、年間の平均気温差が少ない、すごしやすい土地である。先のアジア太平洋戦争末期の沖縄戦では、街は焦土と化しましたが、1972年の日本復帰を経て、多くの県民市民の努力と協力によって、現在の那覇市へと発展してきました。21世紀をむかえ、那覇市は、沖縄都市モノレール・中心市街地及び新都心地区を核としたまちづくりを展開している。また市民との協働のまちづくりや次代を担う子どもたちの育成を中心とした諸施策を展開している。



### （視察概要）

ピットリサービスでは、転出届、転入予約、保育園・こども園の申込などをオンライン化しており、自ら改善できることが大きな特徴となっている。

DX推進方針・・・デジタル技術の活用、利用者目線のサービス、デジタル技術の活用による生産性の向上、人にやさしいデジタル化、安心・安全の担保、多様な主体との連携による施策の推進としている。

### （所感）

時間や場所にとらわれない活動を可能とする、デジタル技術の役割は重要だと実感した。人にやさしいデジタル化、安心・安全の担保を重んじていることに感銘を受けた。スムーズに手続きができることで、業務負担が軽減できる効果が見込めるため本市でも検討すべきと考える。